

2007年1月18日(木)

埼玉高速鉄道

「新しいアイデア出したい」 近藤新社長就任へ



近藤彰男氏

県の第三セクター埼玉高速鉄道(SR)は十七日、さいたま市浦和区で臨時株主総会と取締役会を開催し、空席だった新社長に日本ジェムプラスの前社長だった近藤彰男氏(59)を選任した。前社長の杉野正氏(48)に続く民間出身の社長就任。有利子負債約千五百億円を抱えるSRの経営改善に「再建屋」との評価もある近藤氏の手腕が期待される。

新社長に就任直後、報道陣のインタビューに対し近藤新社長は「鉄道(の経営)経験はないが、社員、株主含め強いチームづくりから始める。SRは都内に近く、沿線開発など発展の可能性が大きく、新しいアイデアを出しながら経営に当たりたい」と抱負を語った。

また、県と三市(さいたま、川口、鳩ヶ谷)から出ている補助金なしでの償却前黒字を当面の目標にする考えを述べた。償却前黒字化を確実にした杉野前社長の姿勢に関しては「コストカットをうまくやられた印象だ。それは引き継いでいく」とした。岩槻方面への延伸課題に関しては「延伸という基本方向は理解しているが、今後、勉強していく」と述べるにとどめた。

SR会長でもある上田知事は、近藤氏の社長就任について「杉野さんは創造的破壊だったが、近藤さんには融和創造を期待している。県と沿線自治体から補助金返上を成し遂げてほしい」と語った。

SRは新取締役に埼玉りそな出身で県公園緑地協会理事長の小嶋一晃氏も選任した